

経営理念浸透のための各種手法概要

■ 経営理念浸透のための代表的ツール・ノウハウ

経営理念・方針浸透活動施策例	手法
1. 人事制度及び教育制度との連動	経営理念に沿った行動を人事評価システムにおいても評価できるよう連動させる。経営理念や会社のビジョン実現のための努力を評価し、そのために継続的に頑張る社員の処遇に反映させることで理念推進活動を組織の中で重要な価値観として定着させる。また理念に沿った行動や活動レベルの高度化を目的とした教育や研修の実施によって理念浸透をはかる。
2. クレド・マインドマニュアルの作成と活用	キーワードに留まりがちで、現場の仕事での文脈に置き換えにくく共有しにくい経営理念を、身近な行動項目や象徴的なエピソードにまとめることで、経営理念への理解と浸透をはかる。
3. ビジョンカスケードの実施	理念の持つ具体的な意義や価値を理解し、現場で翻訳・浸透させていくための仕組。上位層から段階的に講師役を務め説明していくプロセスを経ることで、理念への理解と当事者意識の醸成をはかる。
4. インフォーマルミーティングの実施	組織内での肩書きや立場をはずし、気楽にまじめな話をしていくミーティングを重ねることで、部署間、職場内のコミュニケーション活性化と信頼関係醸成をはかる。経営理念について気楽にまじめな話をしていくことで経営理念についての理解を深めることができる。
5. サンクスカード導入	「承認・感謝の言語」を流通させることで、組織内の信頼関係土壌の強化をはかる。もらうほうのモチベーション向上は勿論、カードの書き手側に対しても様々な気づきを促すことができる。カードに理念を記したり、理念にかなう行動に対して「承認」を行うことで理念の浸透にも役立てることができる。
6. 理念浸透に対するサーベイ・アンケート	組織サーベイ・アンケートの実施により、組織内で経営理念・会社ビジョンがどの程度機能しているのかをチェックしたり、どのような対策を講じていけばよいかを導きだすことができる。

※上記は、弊社コンサルティングの一部を抜粋したものです。その他具体的な施策については、ご相談下さい。